

ドライバー不足やCO2排出量削減など、物流課題への対応 ファミリーマート×ローソン、初の共同輸送 4月11日（木）から、東北地方の物流拠点間において開始

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見 研介、以下「ファミリーマート」）と株式会社ローソン（本社：東京都品川区、代表取締役 社長：竹増 貞信、以下「ローソン」）は、4月11日（木）から東北地方の一部地域において、アイスクリームや冷凍食品などを対象とした両社の物流拠点間の輸送を行います。両社の商品を同じトラックに混載し、共同で輸送することで車両台数およびCO2排出量削減を目指します。

実験を除き、本格的にファミリーマートとローソンが共同輸送を行うのは、今回が初めてです。



ファミリーマート物流拠点（宮城県多賀城市）



ローソン物流拠点（岩手県盛岡市）

<取り組みの背景>

ファミリーマートとローソンは、2020年8月と2022年2月に実施した大手コンビニエンスストア3社の共同配送実証実験（※1）に参加いたしました。実証実験終了後も、社会インフラとしての役割も担う両社が、安定的に商品を生供給するための物流網の維持・構築は非常に重要と考え、協業の実現に向けて、両社で協議や実験を継続してきました。

今回、両社の配送拠点の位置が条件に合致した事と、トラックに混載するスキーム構築が整ったため、共同輸送の実現にいたりました。全国に店舗網を持つコンビニエンスストアとして、持続可能な供給体制構築のため、今後は他エリアへの拡大も視野に検討を進め、更なる効率化に取り組んでまいります。

（※1）経済産業省および流通経済研究所の支援のもと、2020年8月1日～8月7日に都内湾岸エリアで、2022年2月21日～2月28日に北海道の函館エリアで実証実験を実施

<共同輸送内容>

・概要：ファミリーマートとローソンは、宮城県・岩手県の各在庫拠点から秋田県の配送拠点への輸送便をそれぞれ運行しています。今回、冷凍商品の輸送において、輸送車両にスペースが発生す

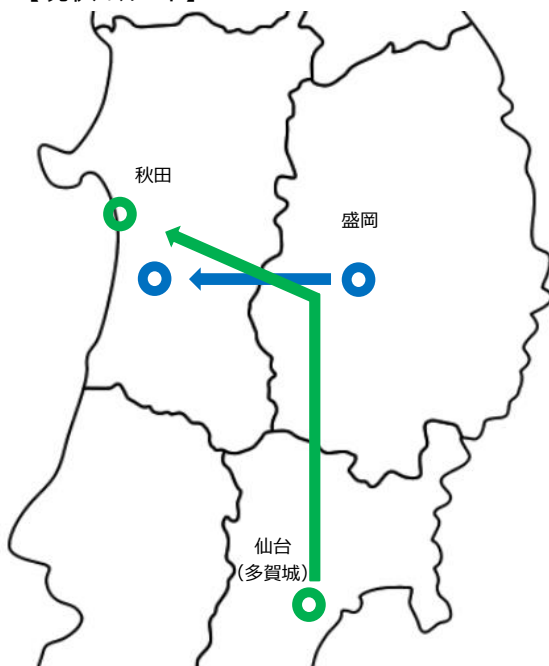
る場合に、1台に積み合わせて共同輸送を行います。

- ・開始日 : 4月11日(木) 輸送分より開始
但し、積載量の条件(※2)が合わなかった場合は、翌実施日から開始
- ・実施月 : 物量が比較的安定する4月~6月と9月~11月
- ・実施曜日 : 火曜日、木曜日、金曜日の積載量条件(※2)が合致した日に実施
- ・実施時間帯 : 昼間~夜間にかけて
- ・対象商品 : アイスクリーム、氷、冷凍食品などの冷凍商品
- ・輸送車両 : 10tトラック1台
- ・輸送ルート : ①ファミリーマートの物流拠点(宮城県多賀城市)からファミリーマート用商品を積載して出発
↓
②ローソンの物流拠点(岩手県盛岡市)でローソン用商品を積載
↓
③ローソンの物流拠点(秋田県秋田市)でローソン用商品を降ろす
↓
④ファミリーマートの物流拠点(秋田県秋田市)でファミリーマート用商品を降ろす

- ・CO2排出削減量 : 1回あたり56kg-co2の削減効果(距離として約120km)(両社合計)
(※2)週に1度、翌週のファミリーマート用車両の予測空き容量とローソンの積載予測量を確認し、1台に積載できると判断した場合にのみ実施。1台に積載できる量を超えた場合は各社ごとに輸送。

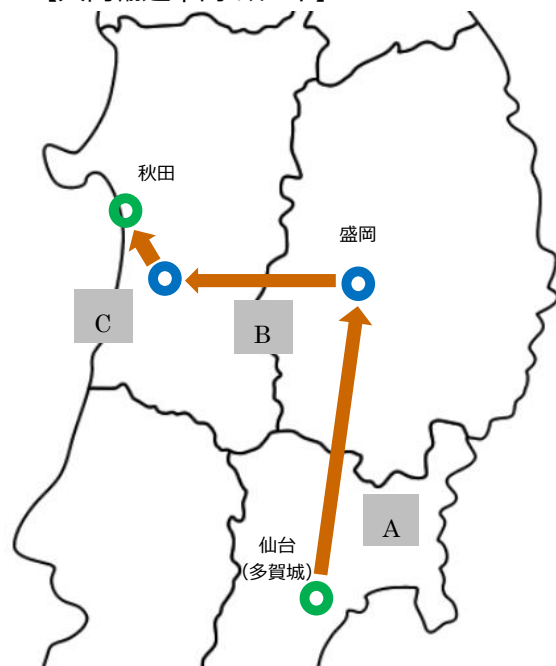
<共同輸送のイメージ図>

【現状のルート】



各社それぞれで物流拠点間の輸送を実施
・ファミリーマート：仙台(多賀城)→秋田
・ローソン：盛岡→秋田

【共同輸送車両のルート】



A 区間：ファミリーマート商品を積載
B 区間：ファミリーマート+ローソン商品を積載
C 区間：ファミリーマート商品を積載

凡例 ● ファミリーマート物流拠点 ● ローソン物流拠点

<ご参考 物流 2024 年問題に対する主な取り組み>

①AI を活用した配送シミュレーターの自社開発

AI を活用した配送シミュレーターを自社開発し、配送ルートの最適化（効率化）に取り組んでおります。2022 年 10 月から、全国の定温センターにおいて本格稼働し、配送コース数とトラックの台数を、それぞれ約 1 割削減する効果がありました。2023 年 10 月からは冷凍配送に導入、全国に順次拡大しており、2024 年春夏以降、常温配送にも導入の予定です。

②コカ・コーラ ボトラーズジャパンとの物流面における協業

神奈川県海老名市・厚木市を中心としたエリアにおける配送で、コカ・コーラ ボトラーズジャパンの店舗配送トラックの共同活用のスキームを構築し、2024 年 2 月上旬から物流面での協業を開始いたしました。コカ・コーラ ボトラーズジャパンの店舗配送トラックが時間帯によって稼働していないときに、ファミリーマート店舗への常温商品配送に使用することで、同一車両を 2 社で有効活用する取り組みです。

③曜日別配送の導入

2022 年秋から一部冷凍センターで、曜日別配送コースを導入し、2023 年度から全国に拡大しています。曜日別に異なる発注量（物量）に合わせたコース設定を行うことで、より効率的な配送を行うことができ、トラック台数を約 5%削減する効果がありました。常温配送でも同様の取り組みを導入しています。

④常温配送におけるカゴ車納品の拡大

従来は、商品を台車に積んで店舗へ運び、ドライバーが台車から商品を降ろして納品していましたが、センターで店舗ごとに商品をカゴ車に積み込み、カゴ車に載せたまま店舗に納品する取り組みを拡大しています。店舗での納品作業が効率化され、ドライバーの負担軽減と納品時間の短縮につながります。センターでの積み込み時間が約 30 分、店舗での納品作業時間が、各店舗あたり約 10 分短縮される効果があります。

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニに、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

以上